

「一般国道17号本庄道路（Ⅱ期）」
「西関東連絡道路一般国道140号長尾根バイパス」
新規事業化に係る知事コメント

このたび、国土交通省から、直轄事業「一般国道17号本庄道路（Ⅱ期）」、補助事業「西関東連絡道路一般国道140号長尾根バイパス」が、令和4年度の新規事業化箇所として示されました。

「一般国道17号本庄道路（Ⅱ期）」は、国道17号深谷バイパスから国道462号までの約6.1kmの道路です。現在事業が進められている県境側の本庄道路（Ⅰ期、7.0km区間）と一体的に整備されることで、交通混雑の緩和や交通事故の減少をはじめ、交通の利便性向上による経済波及効果や周辺のまちづくりの推進など県北地域の活性化が期待されています。

また、「西関東連絡道路一般国道140号長尾根バイパス」は、秩父地域の交通渋滞解消と円滑な交通を確保するとともに、秩父市街地と西秩父地域のアクセス性を改善する地域の悲願とも言える重要な幹線道路です。

2つの道路の早期事業化について、期成同盟会や議員連盟などの地元組織が国に対し機会あるごとに要望活動を行っていただきました。

また、私も2月21日には齊藤鉄夫国土交通大臣に対し、オンラインで、新規事業化を要望させていただきました。

このたびの新規事業化につきましては、齊藤鉄夫国土交通大臣をはじめ、これまで御尽力をいただいた国土交通省の皆様、そして事業化に向けてお力添えをいただいた地元の皆様、関係議員の皆様に深く感謝を申し上げます。

県といたしましては、地元関係者の皆様とともに一体となって、早期完成に向けて、全力で取り組んでまいります。

令和4年 3月25日
埼玉県知事 大野元裕